

# きらぼし海外レポート

2026年1月号

きらぼし銀行 海外戦略部

## CONTENTS

### □ 中国現地レポート

綺羅商務諮詢（上海）有限公司 園部

<テーマ> 「“鬼滅の刃”から見る中国の映画事情」

### □ ベトナム現地レポート

KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM CO., LTD. 町田

<テーマ> 「ベトナムにおける若年層の転職意識と人材流動化について」

### □ 特集～海外投資環境編～

インタビュアー：きらぼしコンサルティング 兼 きらぼし銀行 蓑田、木村

<テーマ> 「インド市場の魅力と可能性」

### □ セミナー・イベントのご案内

<セミナーのご案内>

2026年2月4日開催「中国不正対策オンラインセミナー」

共催：きらぼし銀行、きらぼしコンサルティング

### □ 綺羅商務諮詢（上海）有限公司からのご案内

中国ビジネス無料WEB相談

### □ きらぼし銀行の海外ビジネスサポートネットワーク

## 中国現地レポート

## 「鬼滅の刃」から見る中国の映画事情

## ○鬼滅の刃を見に行こう

2025年11月14日～2025年12月11日まで、中国で『鬼滅の刃 無限城編 第一章 猗窩座再来』が公開されました。この映画は、日本にて2025年7月より公開された劇場版「鬼滅の刃」無限城編』第一章 猗窩座再来』の中国公開版となります。

私が「鬼滅の刃」と出会ったのは、世間とは少し遅めで、前回の劇場版が放映されるタイミングでした。劇場版の告知を兼ねたアニメの再放送があり、当時小学2年生だった娘が小学校で同級生と話をしていたのか、当時の娘との会話は基本、鬼滅の刃でした。「ミズノコキュウ」だの、「ハシラ」、「キムツジムザン」だの知らないワードがあまりにも多く、このままでは娘と会話ができないと思い、アニメを見始めて、少しずつ知識を得るようになり、気付いたら、娘よりもハマっていた…そんな背景があります。私と同じような背景を持つ大人の鬼滅の刃ファンも多いのではないのでしょうか？20年ぶりに一人で映画を見に行きました。



## ○中国の映画事情

中国の国家電影局の発表によると、2025年の10月末時点で、中国大陸における営業中の映画館の数が15,438館となります。スクリーンの数は、92,556基となっています。2025年12月13日現在、映画の興行収入は、500.03億元、観客動員数が11.9億人で、非常に巨大なマーケットとなります。動員数や施設数が多いということもありますが、チケット代も、日本に比

	中国の映画市場	日本の映画市場
興行収入	約500億元 (約70億USドル) ※2025年	2,070億円 (約13.3億USドル) ※2024年
観客動員数	約11.9億人 ※2025年	約1.44億人 ※2024年
スクリーン数	92,556基 ※2025年	約3,500基 ※概数
年間上映作品数	873本 ※2024年	1,190本 ※2024年 ※内邦画685本、 外画505本

※公開情報により筆者作成

べ安いのが挙げられます。日本では金額が統一されていますが、中国では、映画館や放映時間によって金額が変動します。相場も35元～80元(約770円～1,760円 ※1元=22円計算)と、金額幅はあるものの、手頃な価格で見ることができます。また、大衆点评のアプリであれば、全ての映画、放映映画施設の予約が可能で、比較も簡単です。ちょっとした隙間時間や、事前予約ももちろんできるため、スケジュールも立てやすく、価格も併せて、『買いやすい』というのが巨大マーケットの大きな理由ではないでしょうか。また、「マッサージ席」や「カップル席」等などの設定もあり、飲食物の持ち込みもできるので、日本の映画館とは違った楽しみ方もできます。

## ○2025年は動物の当たり年

中国の映画業界では、2025年は「動画映画の当たり年」とされています。『Ne Zha 2』や『Zootopia2』などの動物キャラクターが活躍する映画が大ヒットしました。動画映画が市場売上の約半分（245億元以上）を占めているとも言われています。特に、Zootopia2は、中国だからこそ、上海だからこそ、動員数を伸ばしたのではないかと個人的な見解があります。上海には、ディズニーランドがあり、世界で唯一Zootopiaのアトラクションである、「ズートピア：ホット・パースート」があります。ディズニー映画は、大人だけではなく子供が楽しめるコンテンツです。私のような一人で見に行く視聴者よりも、家族で見に行くという視聴者が多くいることが予想できるため、動員数も売上も伸びるのではと考えています。

## ○終わりに

日本で見るができなかったのが、中国で公開されるとわかったときには、非常に楽しみにしておりましたが、公開当初は、放映時間が全て深夜帯での放映でした。そして、鬼滅の刃は公開当初、16歳以上を対象とした映画という設定であり、子供の視聴を推奨していませんでした。鬼滅の刃の人気は中国でも絶大です。私が行った深夜帯の時間でも、半分以上の席が埋まっており、コスプレをして見に来ている人もいて、人気の高さを感じました。日本のアニメや映画が中国でも人気というのは非常にうれしい事です。公開日が延期となっているコナンやクレヨンしんちゃんを楽しみにしている人は中国にもたくさんいると思います。少しでも早い公開を願うばかりです。

以上

綺羅商務諮詢（上海）有限公司 園部

## ベトナム現地レポート

### 「ベトナムにおける若年層の転職意識と人材流動化について」

#### ○はじめに

近年、ベトナム（特にハノイ・ホーチミン市など都市部）では、若年層を中心に「働き方」や「職場に求める価値」が多様化しています。こうした変化は、転職・人材流動化を一段と起こりやすくし、企業側にとっては採用・定着の難易度を高める要因となり得ます。

本稿では、若年層の職場選好（柔軟な働き方・成長機会）に関する調査結果を整理し、人材流動化の背景と、日系企業が取るべき対応の方向性を考察します。

#### ○ベトナム若年層の職場選好（働き方・成長機会）の現状

Vietcetera が紹介する The Sentry×Decision Lab の調査（The Future of Work、n=500+）では、働き方の選好が以下の通り示されています。

- 1) ハイブリッド勤務を好む：62%
- 2) 完全出社：15%
- 3) どこでも働ける形：14%
- 4) 完全リモート：9%

この結果から、柔軟な働き方が主要な選好である一方、一定の多様性が残る点も確認できます。

また Decision Lab の公開記事では、職場選びで重視する要素として以下が示されています。

- ・学習・成長機会：47%（最上位）
- ・会社文化：46%
- ・収入・福利：46%

すなわち若年層の職場選択は、「制度（働き方）」と「成長（学習機会）」の両軸で評価される傾向が強いといえます。

（出典：Vietcetera、Decision Lab）

#### ○人材流動化（転職を含む）を後押しする背景要因

背景要因は大きく3点に整理できます。

- 1) 働き方の柔軟性が「比較される条件」になったこと：  
ハイブリッド志向が62%と高く、制度の有無・運用の明確さが企業間比較に直結しやすい状況です。
- 2) 学習・成長機会が優先度上位であること：  
学習機会が47%で最上位であり、育成・キャリア展望が弱い場合、流動化圧力が高まり得ます。
- 3) 一部職種で競争範囲が越境し得ること：

IT 等では国外企業とのリモート就労が語られ、国内企業間競争に加えて海外企業も競争相手となり得ます（※Tree9.work は傾向把握として参照。定量値の提示は行わない）。

（出典：Vietcetera、Decision Lab、Tree9.work）

## ○企業側の対応動向

企業側では、「柔軟な働き方」と「成長機会」の両面を意識した対応が重要になっています。

・制度面：

ハイブリッド／リモート可否に加え、対象業務・頻度・コミュニケーション設計など運用面を具体化し、候補者の不安を減らすことが求められます。

・育成面：

学習機会が最上位（47%）であることを踏まえ、研修・OJT・スキルアップ支援、キャリアロードマップの提示などをセットで設計することが定着策として有効です。

（出典：Vietcetera、Decision Lab）

## ○日系企業への影響と今後の課題

日系企業にとっては、従来の訴求（安定・長期雇用）に加え、「柔軟性」と「成長」の提供が採用・定着の実務上の論点になります。特に学習機会が47%で最上位である点は、育成設計が“魅力付け”と“離職抑止”の両方に効き得ることを示唆します。実務対応としては、以下を最低限のパッケージとして整えることが有効です。

- 1) ハイブリッド勤務等の制度と運用ルール（適用範囲・頻度・評価方法）
- 2) 学習・育成機会（研修、OJT 設計、スキル習得支援）
- 3) キャリアの見通し（ロードマップ）と評価基準の説明

（出典：Vietcetera、Decision Lab）

## ○おわりに

ベトナム若年層の職場選好は、柔軟な働き方（ハイブリッド志向 62%）と、学習・成長機会（47%）を重視する方向にシフトしていることが示唆されます。これらは転職・人材流動化を結果的に後押しし得るため、日系企業においても「選ばれる企業であり続ける」観点で、人事制度（柔軟性）と育成設計（成長機会）を両輪で強化することが重要です。

以上

KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM CO., LTD. 町田

## 海外ビジネスレポート

### 「海外投資環境編～インド市場の魅力と可能性」

世界で最も人口が多い国インド。高い経済成長率と市場規模の拡大で存在感を増すインドの魅力と進出の可能性について、HLS インディア・ジャパンデスクの江嶋直人氏に伺いました。

本号・次号と2回にわたってお届けします。

#### ○ インドは内需の期待大 中国企業の進出はまだ少ない

いま、インドに日本企業からの注目が集まっています。国際協力銀行の「わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告（2024年度）」によると、有望事業展開先として、インドが3年連続で首位を獲得しました。

インド市場の魅力は、何より14億人を超える世界一の人口です。そして、平均年齢が約29歳と若く、今後の内需成長が期待できることにあります。

日本企業の進出数は約1400社と、15年で約2倍に増加<sup>1</sup>。さらに、インドに進出している日系製造業の8割以上が黒字（2024年度）という調査結果もあり、こうした既出企業の好調ぶりも、インドが日本企業の注目を集める理由の一つです。

加えて、競合環境の面でもインドには優位性があります。日本貿易振興機構（ジェトロ）が2024年に実施した「海外進出日系企業実態調査（アジア・オセアニア編）」では、各国に進出している日系企業（製造業）に対し、競合企業について尋ねています。タイに進出している企業で、「中国企業がライバル」と回答した割合は64.2%でした。一方で、インドに進出している企業では、わずか5.5%しか中国企業をライバルとして挙げていません。

このことから、インド市場にはまだ中国企業があまり進出していないことがわかります。つまり、いま進出すれば、先行者利益を得られる可能性が高いといえます。

HLS インディアでは、日系企業がインドに進出する際の市場調査・信用調査・会計・法務・労務などをサポートしています。インドの人口が世界一になった1年半ほど前から、「インドに進出したいが、何から始めればよいのかわからない」といった問い合わせが増えてきており、進出先として注目が集まっていることを実感しています。

#### ○ 都市によって異なるビジネス環境

私はインドに住んで5年ほど経ちますが、いまだにインドの全容がつかめていません。それほどインドは、多様性に富んだ国です。

インドの国土は日本の約9倍、人口は約10倍です。そして公用語は州によって異なっており、22言語ともいわれています。日本ではほとんどの人が日本語を話しますが、インドには5割以上の人話す共通言語が存在しません。最も話者が多いヒンディー語でさえ、人口の4割ほどしか話せません。多様

<sup>1</sup> 2025年6月 在インド日本国大使館、総領事館、ジェトロ「インド進出日系企業リスト」より

な言語は、外部からインド社会を理解する際の障壁となっています。

こうした多様性はビジネス環境の面でも同様で、都市によって集積する産業が異なります。そのため、進出先の選択が重要なポイントになります。

例えば、専門商社のように卸売取引が中心の企業にはデリーがお勧めです。インド在住日本人の約50%が北インドに住んでいますので、デリー・グルグラム地域は日本語での情報収集がしやすく、また、デリーはインドの首都ですから、地方への移動や出張がしやすいという長所があります。大気汚染という懸念はありますが、ビジネス上のメリットを活かさない手はありません。

マハラシュトラ州のムンバイには、金融・保険・海運・小売などのビジネスが集まっています。マハラシュトラ州は国内GDPへの最大の貢献州であり、ムンバイはインドで一番所得水準が高い都市です。また、新しい文化にオープンな人が多いため、BtoCビジネスに人気です。

飲食で初めて進出する企業の多くは、南インド・カルナータカ州のベンガルールを選びます。北インドに比べて、南インドのほうが食に寛容です。そのため、インド進出のパイロット版やマーケティングに適しています。

このように、インドには都市ごとに特徴的なビジネス環境が形成されており、展開するビジネスに合わせて進出先を選ぶことが重要だといえます。

次号では、インド進出の際の注意点について解説します。

HLS インディア 企業ホームページ

<https://hls-global.in/ja/>

※HLS グローバルのホームページに遷移します

インタビュアー：きらぼしコンサルティング 兼 きらぼし銀行 蓑田、木村

## <セミナーのご案内>

### — 2月4日開催「中国不正対策オンラインセミナー」 —

きらぼし銀行・きらぼしコンサルティング共催で、**中国での不正事例と実務的な対策**をテーマにしたオンラインセミナーを開催いたします。内部統制や不正対応に実務経験のある専門家をお迎えし、**具体的な事例と実践的な防止策**を分かりやすく解説します。ぜひお気軽にご参加ください。

#### 【開催概要】

- ・日 時：2026年2月4日（水）（日本時間）15:00～16:00
- ・開催形式：Zoom ウェビナー（オンライン）
- ・参加費：無料 ※視聴時の通信費は参加者ご負担となります
- ・共 催：きらぼし銀行、きらぼしコンサルティング

#### 【プログラム】

##### ●「中国不正対策～中国不正事例と対策」

登壇者：加藤 尚 氏（レイズ ビジネス コンサルティング（上海）有限公司 総経理・日本公認会計士）

- ・総経理として知っておくべき不正の種類 ～23件の事例から～
- ・会社として不正リスクにどのように注意しておくべきか ～具体的な不正の防止方法～  
皆様の関心の高い「よくある不正」に絞って説明します！

##### ●「不正調査サポート、再発防止策定サポートのご案内」

登壇者：小林 邦寛 氏（綺羅商務諮詢（上海）有限公司/きらぼし銀行上海拠点 総経理）

#### ▼詳細&お申込みはこちら▼

<https://www.kiraboshi-consul.co.jp/wp-content/uploads/2026/01/365992b7e6b469b1736bdb97d424e006.pdf>

（きらぼしコンサルティングの案内ページに遷移します）

※申込締切：2026年2月3日（火）17:00

#### 【セミナーに関するお問い合わせ先】

きらぼしコンサルティング

Mail：[global@kiraboshi-consul.co.jp](mailto:global@kiraboshi-consul.co.jp)

Tel：03-6447-5828

※受付時間 平日9:00～17:00

## < 中国ビジネス無料 WEB 相談 >

綺羅商務諮詢（上海）有限公司では、中国で事業展開をご検討されているお客さま既に進出されているお客さまを対象に、無料でWEB相談を承っております。ぜひお気軽にご相談くださいませ。

### ■ 相談事例

- ・ 中国に**現地法人設立を検討**している
- ・ 中国企業からビジネスの誘いを受けているが、**中国企業の実態が分からない**
- ・ 中国子会社の資金繰りが思わしくなく、**資金調達を検討**している
- ・ 中国子会社に日本人が駐在しておらず、中国子会社から来る報告内容が良く分からない
- ・ 中国への**販路拡大を検討**している（輸出含む）
- ・ 中国での**製造委託先を探している**
- ・ 中国からの**撤退を検討**している

### ■ お申込み方法

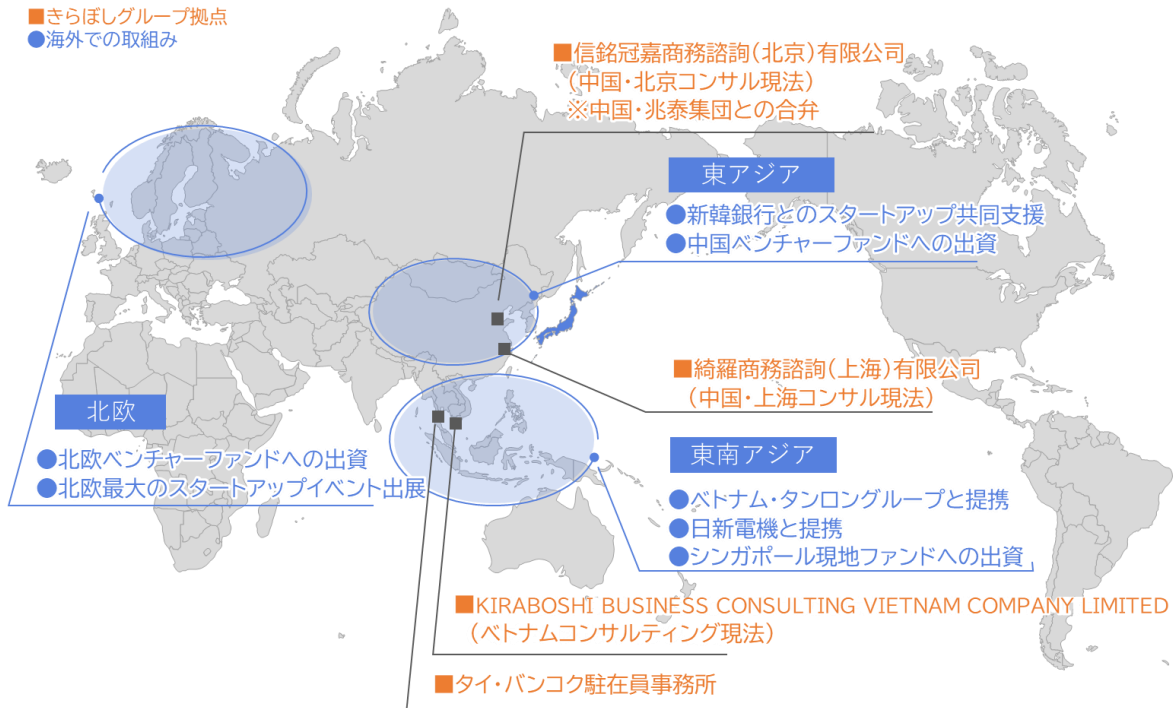
綺羅商務諮詢（上海）有限公司（きらぼし銀行上海現地法人）ホームページ（[中国ビジネスに関する無料 WEB 相談 | きらぼし銀行](#)）より申込書をダウンロード頂き、必要事項をご記入の上、綺羅商務諮詢（上海）有限公司代表アドレス（[kiraboshi\\_shanghai@kiraboshi-bc.com.cn](mailto:kiraboshi_shanghai@kiraboshi-bc.com.cn)）までお申込み下さい。

### ■ お問い合わせ

綺羅商務諮詢（上海）有限公司（きらぼし銀行上海現地法人）  
TEL: +86-21-6467-0011(日本語可)  
電話受付時間：平日 9:30～18:00(日本時間)

## きらぼし銀行 海外ビジネスサポートネットワーク

- きらぼしグループ拠点
- 海外での取組み



上海：綺羅商務諮詢（上海）有限公司 《きらぼし上海》

中華人民共和国上海市黄浦区淮海中路918号久事復興大廈24-C1室

<https://www.kiraboshibank.co.jp/hojin/boueki/soudan/kiraboshi-shanghai/>

北京：信銘冠嘉商務諮詢（北京）有限公司 《北京合併会社》

中華人民共和国北京市大興区金盛大街二号院五号楼1階101-32

ホーチミン：KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED 《きらぼしバトナム》

The Mett Building, 15 Tran Bach Dang Street, Thu Thiem Ward, Thu Duc City, Ho Chi Minh City, VIETNAM

<https://kiraboshi-bc.com.vn/>

タイ：Kiraboshi Bank, Ltd., Bangkok Representative Office  
《きらぼし銀行 バンコク駐在員事務所》

689 Bhiraaj Tower at EmQuartier, Level 30, Sukhumvit Road, Khlong Tan Nuea, Watthana Bangkok 10110, Thailand

### きらぼしグループの海外戦略

▼きらぼしグループの海外戦略について  
動画視聴はこちらから

※YouTube 動画に遷移します

<https://youtu.be/bNdvbHA7IbU>



### きらぼし銀行海外戦略部ホームページ

▼きらぼし銀行の海外サポートについては  
下記ご確認ください。

[海外進出支援のご相談](#) | [貿易取引・海外進出支援](#) | [きらぼし銀行](#)

### お問い合わせ

きらぼし銀行 海外戦略部

▶電話……03-6447-5828 ※受付時間：平日 9:00~17:00 ▶E-mail……i580@kiraboshibank.co.jp

## 本レポートのご利用にあたって

- ◆本レポートに記載の事項は情報提供のみを目的としたものであり、記載されているデータ、意見などはきらぼし銀行が信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ◆当レポートに記載された内容が事前連絡無しに変更されることもあります。当レポートに記載された条件などはあくまで仮定的なものであり、かかる取引に関するリスクを全て特定・示唆するものではありません。事業展開の最終決定は貴社ご自身の判断でなされるよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などに御相談の上でお取扱下さいますようお願い致します。
- ◆本記事は、特に断りのない限り、執筆者個人の見解です。執筆者に付している所属企業・団体名、肩書きおよび各記事末尾の執筆者略歴は、執筆者紹介のためのものであることをご了承ください。
- ◆当レポートの一部または全部について無断でいかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳等を行うことを禁止します。